

- 問1 薩摩藩が奄美大島などで行った砂糖の専売制について、当時の生産現場では武士が作業を厳しく監視する体制がとられていました。このような厳しい管理が行われた理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| 1. 海外への輸出を拡大するために、砂糖の品質を全国統一の基準に保つため | 2. 過酷な労働環境にある島民の安全を確保し、生産意欲を向上させるため | 3. 砂糖の製法が他藩へ流出するのを防ぎ、特産品としての価値を守るため | 4. 生産者に自由な取引をさせず、藩が安値で独占的に買い上げる仕組みを維持するため |
|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
- 問2 16世紀半ばに種子島へ漂着した船に乗っていた人々によって、日本に鉄砲が伝えられました。この鉄砲を伝えた人々の国名と、その後、高度な金属加工技術を活かして鉄砲の大量生産を行い、商工業の発展とともに繁栄した都市の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|------------|-----------|
| 1. オランダと長崎 | 2. ポルトガルと堺 | 3. イギリスと博多 | 4. スペインと堺 |
|------------|------------|------------|-----------|
- 問3 不要になった電子機器から金などの資源を取り出す「リサイクル」の取り組みに関連して、日本の資源問題や環境対策の説明として正しいものはどれですか。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 携帯電話などの小型家電には多くの有用な金属が含まれており、これらを再利用することで資源の有効活用が進められている。 | 2. 資源の不足を解消するため、古い電子機器はすべて海外へ輸出し、現地で埋め立て処分することが法律で義務付けられている。 | 3. 小型家電からの資源回収はコストがかかりすぎるため、現在はずべて一般ごみとして焼却処分することが推奨されている。 | 4. 金やレアメタルは自然界で無限に生成されるため、リサイクルよりも安価な海外からの輸入を拡大し続けることが推奨されている。 |
|--|--|--|--|
- 問4 鎌倉幕府において、将軍から御家人に対して行われる「御恩」の具体的な内容として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---------------------------------------|
| 1. 先祖から受け継いだ土地の所有権を保証したり、戦功に応じて新しい領地を与えたりすること | 2. 農民から年貢を取り立てる権利を、一定期間に限り貴族や寺社に譲渡すること | 3. 朝廷から征夷大將軍に任命されることで、全国の武士を統制する権利を得ること | 4. 戦時における軍役や、平時における京都や鎌倉の警護活動を義務づけること |
|---|--|---|---------------------------------------|
- 問5 日本の衆議院議員総選挙における有権者数の推移をまとめた統計において、2014年の約1億400万人に対し、2017年では約1億600万人へと、約200万人の増加が見られます。この変化が起きた直接的な背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 2015年の公職選挙法改正によって、選挙権の年齢要件が満18歳以上に拡大されたため。 | 2. 戦後初の憲法改正が行われ、国民投票権と選挙権がすべての世代に一律に付与されたため。 | 3. 少子高齢化対策として、子育て世代に複数の票を与えるドメイン投票制が導入されたため。 | 4. 納税額に関わらず満25歳以上の男子に選挙権を認める普通選挙法が、全ての男女に適用されるよう変更されたため。 |
|---|--|--|--|
- 問6 石油輸出国機構（OPEC）が、加盟国の原油の生産量を制限したり価格を調整したりする主な目的として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 先進工業国に対して、再生可能エネルギーへの転換を促進させるため | 2. 原油価格の下落を防ぎ、産油国が安定した利益を得られるようにするため | 3. 加盟国間ですべての貿易品にかかる関税を撤廃し、自由貿易圏を作るため | 4. 世界中から原油の輸入を増やし、自国の資源を温存するため |
|------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|
- 問7 東南アジア諸国連合（ASEAN）に関する説明として、ベトナムなどの加盟国の動向を踏まえた記述として正しいものはどれですか。 (2018年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 加盟国すべてが同じ通貨を使用しており、国境を越えた人の移動に一切の制限がない。 | 2. 東南アジアの国々が経済的な協力を強化しており、域内での関税の撤廃などを進めている。 | 3. 北米諸国との自由貿易を主な目的としており、アジア以外からの加盟も認められている。 | 4. 日本、中国、韓国を含む東アジア全体の経済統合を唯一の目的として活動している。 |
|--|--|---|---|
- 問8 新潟県や富山県では、耕地面積のほとんどが水田として利用され、農業産出額における稲作の割合が全国平均と比べても極めて高い水準にあります。このように、この地域で古くから稲作への特化（単作化）が進んだ背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 土壌に火山灰が多く含まれており、稲以外の作物を育てるのに適さない酸性土壌であった。 | 2. 冬の積雪が多く、裏作で小麦などを作るのが困難なため、夏の一毛作である稲作が中心となった。 | 3. 年間を通じて降水量が極めて少なく乾燥しているため、水利権の確保が容易な稲作に限定された。 | 4. 広大な台地が広がっており、大規模な機械を導入した畑作に適さなかったため、小規模な水田が維持された。 |
|--|---|---|--|
- 問9 平安時代の政治において、藤原氏による摂関政治が全盛期を迎えていた時期の社会背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。この時期には、1053年に建立された平等院鳳凰堂に代表されるような、極楽浄土を願う信仰も広まりました。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---|--|---|
| 1. 武士が政治の実権を握り、素朴で力強い文化が東国を中心に広まった。 | 2. 大陸文化の影響を消化し、かな文字による文学や日本独自の美意識が反映された文化が発展した。 | 3. 禅宗の影響を強く受け、水墨画や茶の湯などの簡素な美しさを尊ぶ文化が形成された。 | 4. 遣唐使を通じて唐の進んだ制度や仏教文化を積極的に取り入れ、国際色豊かな文化が形成された。 |
|-------------------------------------|---|--|---|
- 問10 第1回衆議院議員総選挙当時の状況について、有権者が全人口の約1.1パーセントと極めて少なかった理由として、制度上の背景を説明したものを選びなさい。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 「満20歳以上」という年齢制限が当時の平均寿命に対して高すぎたため。 | 2. 兵役の義務を果たした者のみに選挙権を認める制限があったため。 | 3. 都市部に住む戸主に限定して選挙権が付与されていたため。 | 4. 「直接国税15円以上」という高い納税額の条件が課せられていたため。 |
|---------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|
- 問11 第一次世界大戦後の1920年に、世界の平和維持と安全保障を目的として設立された国際組織と、その組織において日本が担った立場の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|-----------------|---------------|----------------|
| 1. 国際連盟の常任理事国 | 2. 国際連合の安全保障理事会 | 3. 国際連合の常任理事国 | 4. 国際連盟の非常任理事国 |
|---------------|-----------------|---------------|----------------|
- 問12 1221年に起こった承久の乱の後、鎌倉幕府が朝廷の動きを常に監視し、あわせて西日本の政務や裁判を行うために京都に設置した機関はどれですか。 (2018年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|----------|--------|
| 1. 評定衆 | 2. 鎮西探題 | 3. 六波羅探題 | 4. 問注所 |
|--------|---------|----------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 生産者に自由な取引をさせず、藩が安値で独占的に買い上げる仕組みを維持するため	薩摩藩の砂糖専売制は、藩の利益を最大化することを目的としていました。そのため、生産者である島民が砂糖を密売したり、自家消費したりすることを厳しく禁じる必要がありました。武士による監視のもとで、生産された全ての砂糖を藩が不当な安値で買い上げる強制的な仕組みを維持したことが、幕末の薩摩藩の強力な軍事力を支える資金源となりました。
問2	答え 2 ポルトガルと堺	1543年に種子島へ漂着したポルトガル人によって、日本に初めて鉄砲が伝えられました。この新兵器は、自治都市として栄えていた和泉国の堺や紀伊国の根来などの職人によって国産化が進められ、大量生産されるようになりました。これにより、戦国時代の戦い方は騎馬戦から足軽による集団戦へと大きく変化しました。
問3	答え 1 携帯電話などの小型家電には多くの有用な金属が含まれており、これらを再利用することで資源の有効活用が進められている。	日本は多くの鉱物資源を海外からの輸入に頼っていますが、都市鉱山と呼ばれる廃棄物の中には膨大な量の有用金属が眠っています。小型家電リサイクル法などの制度を通じて、携帯電話やパソコンなどを適切に回収・処理することで、金などの高価な金属を再び産業活動に利用する仕組みが整えられています。これは、資源を輸入に頼り続ける「輸入拡大」とは異なる、国内での自律的な資源確保の手段となります。
問4	答え 1 先祖から受け継いだ土地の所有権を保証したり、戦功に応じて新しい領地を与えたりすること	御恩の本質は「土地の保証」にあります。もともと持っていた土地の支配権を将軍が認める「本領安堵」と、手柄を立てた際に新しい土地の支配権を与える「新恩給与」の2つが主な柱でした。これにより、武士たちは自分の生活基盤である土地を守ることができ、将軍への忠誠を誓いました。
問5	答え 1 2015年の公職選挙法改正によって、選挙権の年齢要件が満18歳以上に拡大されたため。	2014年と2017年の統計を比較すると有権者数が急増していますが、これは2015年の公職選挙法改正が要因です。この法改正によって選挙権を持つ年齢が「満20歳以上」から「満18歳以上」に引き下げられたため、新たに約240万人の若者が有権者として加わりました。日本の人口自体が減少傾向にある中で、このように特定の時期に有権者数が大幅に増加するのは、制度的な変更が直接影響していることを示しています。
問6	答え 2 原油価格の下落を防ぎ、産油国が安定した利益を得られるようにするため	産油国にとって石油の輸出は国家の財政を支える重要な収入源です。世界市場で原油が供給過剰になると価格が下落し、産油国の経済に大きな打撃を与えます。そのため、組織全体で生産量を調整（減産など）することで原油価格を一定の水準に維持し、産油国の経済的な影響力を保つ狙いがあります。
問7	答え 2 東南アジアの国々が経済的な協力を強化しており、域内での関税の撤廃などを進めている。	ASEANは、東南アジア諸国の経済協力の一環として、ASEAN自由貿易圏（AFTA）の形成などを通じて域内での関税を段階的に引き下げ、経済の活性化を図ってきました。ベトナムなどの後発加盟国も、こうした枠組みの中で経済発展を遂げています。他の選択肢にある「共通通貨」や「外交の完全な統合」は、ASEANではなくEU（欧州連合）の特徴です。
問8	答え 2 冬の積雪が多く、裏作で小麦などを作ることが困難なため、夏の一毛作である稲作が中心となった。	北陸地方は世界的な豪雪地帯であり、冬の間は農地が雪に覆われるため、他の地域で行われるような冬の裏作（二毛作）が困難でした。一方で、春には豊富な雪解け水が得られるため、夏の豊かな日照時間と水を利用した稲作に集中する「米の単作地帯」として発展しました。現在は品種改良や転作が進んでいますが、依然として高い稲作比率を維持しています。
問9	答え 2 大陸文化の影響を消化し、かな文字による文学や日本独自の美意識が反映された文化が発展した。	摂関政治の全盛期は国風文化の円熟期にあたります。この時期、紫式部による『源氏物語』や清少納言による『枕草子』といった、かな文字を用いた文学作品が誕生しました。また、建築面では阿弥陀如来を祀る平等院鳳凰堂が建立されるなど、日本の風土に根ざした貴族文化が花開きました。
問10	答え 4 「直接国税15円以上」という高い納税額の条件が課せられていたため。	明治政府が実施した最初の選挙制度は、高額納税者にのみ参政権を認める制限選挙でした。この「直接国税15円以上」という基準は、当時の物価水準では農村の有力な地主や都市の富裕な商工業者でなければ満たせないほど高いハードルでした。その結果、一般の労働者や小作農などは政治から排除される形となりました。この納税条件は、その後の選挙法改正を経て徐々に引き下げられ、1925年の普通選挙法によって完全に撤廃されることになります。
問11	答え 1 国際連盟の常任理事国	第一次世界大戦への反省から、アメリカの大統領ウィルソンの提案により国際連盟が発足しました。日本はイギリス、フランス、イタリアとともに、国際社会の重要な意思決定を行う「常任理事国」として参加しました。第二次世界大戦後に発足した国際連合や、その中の主要機関である安全保障理事会と混同しないことがポイントです。
問12	答え 3 六波羅探題	承久の乱で後鳥羽上皇の軍に勝利した幕府は、朝廷を厳しく監視すると同時に、それまで影響が弱かった西日本の武士を統制する必要に迫られました。そのため、京都の六波羅にあった平氏の旧跡に北条氏の一族などの有力な御家人を常駐させ、西日本の軍事・行政・司法を担わせました。